



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年10月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法が変わります。

お1人様、月1回のみのお受講となりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日時	テーマ	講師	単位	定員
10月1日(木) 14:00~16:00 申込受付日時 9月3日(木) 10時~17時	多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～ 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。 まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	24
10月6日(火) 14:00~16:00 申込受付日時 9月8日(火) 10時~17時	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
10月9日(金) 14:00~16:00 申込受付日時 9月4日(金) 10時~17時	働く女性の健康管理 男女雇用機会均等法の施行から34年が経ち、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。	小島原 典子	生涯・専門2	24
10月14日(水) 14:00~16:00 申込受付日時 9月9日(水) 10時~17時	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・専門2	24
10月16日(金) 14:00~16:00 申込受付日時 9月11日(金) 10時~17時	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医の実務について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	24

<p>10月22日(木) 14:00~16:00</p> <p>申込受付日時 9月10日(木) 10時~17時</p>	<p>事例検討～産業医としてどう対応するか～</p> <p>職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思ひます。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・ 実地2</p>	<p>24</p>
---	--	--------------	--------------------	-----------

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて **9月15日(火)10時～** です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
10月7日(水) 14:00～16:00	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を運動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください◆	スポーツケア 整体研究所 (株) 小沼 博子	単位なし	12
10月13日(火) 14:00～16:00	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、 育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和2年7月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	12
10月21日(水) 14:00～15:30	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。 最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	10
10月23日(金) 14:00～16:00	労災補償「制度と現状」 労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	野村 みどり	単位なし	12
10月26日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	12

<p>10月28日(水)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>事例に基づく職場復帰支援にむけて～休職しても意味ある自己成長につながる復職支援を～</p> <p>休職に至る状況はさまざまですが、その時間は本人にとって必要な時と実感しております。 そのような状況から復帰するまでの手順等も含めて、事例を通して考えてみましょう。 休職の意味を考え、再構築するご自身との向き合い方のできる、その人らしい働き方(デーセント・ワーク)を考える、仲間の支援にも支えられる、そんな職場風土を目指したいですね。一緒に検討していきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>菅野 由喜子</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>
<p>10月29日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生管理基礎講座④</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。 本講座はではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 今回はその4回目、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。 なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて **9月15日(火)10時～** です。

日時	テーマ	講師	定員
10月7日(水) 14:00～16:00	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください◆	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	12
10月13日(火) 14:00～16:00	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、 育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくいのが困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和2年7月14日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	12
10月21日(水) 14:00～15:30	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。 最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	14
10月23日(金) 14:00～16:00	労災補償「制度と現状」 労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	野村 みどり	12
10月26日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	12

<p>10月28日(水)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>事例に基づく職場復帰支援にむけて～休職しても意味ある自己成長につながる復職支援を～</p> <p>休職に至る状況はさまざまですが、その時間は本人にとって必要な時と実感しております。 そのような状況から復帰するまでの手順等も含めて、事例を通して考えてみましょう。 休職の意味を考え、再構築するご自身との向き合い方のできる、その人らしい働き方(デーセント・ワーク)を考える、仲間の支援にも支えられる、そんな職場風土を目指したいですね。一緒に検討していきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>菅野 由喜子</p>	<p>12</p>
<p>10月29日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生管理基礎講座④</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。 本講座はではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 今回はその4回目、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。 なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>12</p>